

## 神社と年中行事



▲えいふくいなりじんじや永福稲荷神社としょうが祭り

### ねんちゆうぎようじ 神社と年中行事

年中行事とは、毎年同じ時期に行われる、儀式ぎしきやお祝いいわなどの行事のことをいいます。お正月、せつぶん節分、ひなまつり、たんご端午の節句、せつく七夕、たなばた七五三・しちごさん・すそしてみなさんが大好きなお祭り、これらもみんな年中行事です。

さて、私たちのまち八王子でもたくさんのお祭りが行われていますが、実はこのお祭り、神社と深い関係かんけいがあるものが多いのです。

さあ、主おもなお祭りと神社の関係について調べてみましょう。

みたけ ひゃくはつとう しもおんがた  
御嶽神社と百八灯 (下恩方町)

※のことばは「神社にまつわることば」コーナーで説明しています

御嶽神社が建てられた年ははっきりしていませんが、寛文7年(1667)に勧請※したと伝えられています。祭神※は少彦名命(すくなひこなのみこと)・大己貴命(おおなむちのみこと)。

4月に行われる例祭※では、夕方から「百八灯」が行われます。百八灯とは、108本のロウソクの灯を神様にささげることで、人間の煩惱(人間が持つ108個の欲望のこと)をとり去り、豊作・家内安全を祈願※する行事です。実際には3000本にもなるロウソクの灯が作り出す風景は大変幻想的です。



▲御嶽神社 百八灯



神社にまつわることば

勧請: 神仏の分身・分霊をほかの地に移して祭ること

祭神: 神社に祭られている神様のこと

例祭: 神社が建てられた日などに行われる、もっとも大切とされる大きな祭りのこと

祈願: 神仏に祈ること

宵宮祭: 例祭の前の日、またはもっと前に行われる祭りのこと

境内: 神社が建っている土地

奉納: 神仏にさしあげること

せんげん だいまち  
浅間神社とだんご祭り (台町)

慶長17年(1612)大久保石見守長安が、駿河国(現在の静岡県)の浅間神社から勧請しました。

例祭は8月に行われますが、その宵宮祭※は、境内※でだんごが売られることから「だんご祭り」ともよばれています。明治時代にだんごをつくって奉納※したことから、だんごが売られるようになったといわれています。このだんごを食べると暑さ負けせず、病気にかからないといわれています。だんご祭りで行われる「湯花神事」は、めでたいことや不吉なことを占い、正しい心を持つことをすすめ、心を清めるもので、大きな釜に湯をわかし、はらい清めたあと、笹の葉を湯にひたしてお祓いに使います。この湯は神社にお参りに来た人に配られ、飲むと病気にかからないといわれています。祭神として木花咲耶姫命(このはなのさくやひめのみこと)が祭られており、湯花神事はこの木花咲耶姫命の神話がもとになっています。



▲浅間神社 だんご祭り

## 諏訪神社とまんじゅう祭り（諏訪町）

大治元年（1126）に信濃国（現在の長野県）の諏訪大社から勧請したと伝えられています。祭神は建御名方命（たけみなかたのみこと）・八坂刀売命（やさかとめのみこと）。

8月に行われる例祭は「まんじゅう祭り」と呼ばれ、無病息災・五穀豊穰が祈願されます。四谷龍頭の舞（市指定無形民俗文化財）・太刀・神楽・盆踊・山車曳き等が行われます。境内ではまんじゅうが売られ、これを食べると病気にかからないという言い伝えがあります。この地域では、まんじゅうを作って、親戚や知り合いに配ったり当日来た人に出す習慣が、江戸時代から続いています。



▲諏訪神社 まんじゅう祭り

## 永福稲荷神社としょうが祭り（新町）

永福稲荷神社は、宝暦6年（1756）に相撲取りの八光山権五郎が出世することを祈願して再建されました。その後、権五郎は大関に出世したので信仰を集め、江戸からもたくさんの方がお参りに来ました。現在は、厄除け、新町の氏神さま（その土地を守る神様）として信仰されています。祭神は倉稲魂命（うかのみたまのみこと）。9月に行われる例祭は「しょうが祭り」と呼ばれています。しょうが祭りの始まりははっきりしていませんが、しょうがを奉納し、厄除けを祈願したことからこの名前がつけました。縁日が盛大になったのは明治時代からです。露店ではしょうがが売られ、これを食べた人は病気にかからないといわれています。

## 市守神社とお酉さま（横山町）

市守神社は、天正18年（1590）長田作左衛門が商人の守護神として祭りました。祭神は倉稲魂命。江戸時代に、お酉さまともよばれる天日鷲命（あめのひわしのみこと）が祭神として祭られてからは大鳥神社ともよばれるようになりました。昭和31年（1956）には八王子市の史蹟に指定されました。

11月の酉の日（毎日に干支の十二支を当てて定める日付け法で、「酉」に当たる日のことを言います。これは、12日おきにやってきます）には例祭が行われます。「お酉さま」や「酉の市」ともよばれる「大鳥祭」です。お酉さまでは、いろいろなかざりのついた熊手が売られます。熊手はその形と使い方から「客を取りこむ」「福を取りこむ」とされ、開運・商売繁盛を願うものとして有名になりました。



▲熊手

## 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

※最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類（ラベル）番号です。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

- ☆ 172 日本すかんの神さま絵図鑑 1 松尾恒一まつ お こういち／監修 2012年  
木花咲耶姫命、お酉さまについて、わかりやすく書かれている
- ☆00-17 東京都神社名鑑めいかん 下巻 東京都神社庁ちやう 1986年  
各神社の住所・歴史・写真などが紹介しょうかいされている。
- 00-38 東京都の祭り・行事 東京都教育委員会へん／編 2007年  
御嶽神社の歴史や例祭の様子とともに、百八灯の写真がたくさんあり。
- 21-05 One Two えいと vol.4 えの号  
まんじゅう祭り・だんご祭り・しょうが祭りが紹介されている。
- 21-05 One Two えいと vol.14 せの号  
浅間神社についてくわしく書かれている。
- 21-17 諏訪神社 八王子市諏訪町鎮座ちんざ／著  
諏訪神社のパンフレット。神社の歴史・例祭についてくわしく書かれている。
- 21-18 由緒略記ゆいしりやくき 市守神社社務所しやむしよ／発行  
市守神社のパンフレット。神社の歴史・例祭についてくわしく書かれている。
- 21-26 八王子の歴史と文化 第14号 八王子市郷土資料館きやうどしりやう／編 1992年  
浅間神社・永福稻荷の祈願の内容について書かれている。
- 21-29 佐野川往還さのがわおうかん 歴史の道（佐野川往還）調査団ちやうさだん／原編 2000年  
諏訪神社とまんじゅう祭りの由来ゆらいについて書かれている。
- 21-38 八王子市西部地域せいぶちいき 恩方の民俗みんぞく  
八王子市市史編纂専門部会民俗部会し し へんさんせんもん／編 2012年  
御嶽神社の歴史や例祭の様子がくわしく書かれている。

### インターネット情報

八王子観光協会かんこうきやうかい

<http://www.hachioji-kankokyokai.or.jp/>

神社と年中行事

**参考文献を所蔵している図書館 ※2015年12月現在**

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館					
	中央	生涯	南大沢	川口	北野	みなみ野
日本の神さま絵図鑑 1	○	○				
東京都神社名鑑 下巻	△					
東京都の祭り・行事	△					
One Two えいと vol. 4 えの号	○		△			
One Two えいと vol.14 せの号	△		△			
諏訪神社	△					
由緒略記	△					
八王子の歴史と文化 第14号	○	△	△	△		
佐野川往還	△	△				
八王子市西部地域 恩方の民俗	○	○	○	○	○	△